

#3 有機的な結合の中で生き、ミングリングされた霊の中で生きることによって、またキリストの死に同形化されることによって、キリストのからだの実際の中にいる

サンクス・ギビング特別集會 2019/1/28-2/3

I. 私たちは、キリストとの有機的な結合の中で生きることによって、キリストのからだの実際の中へと入ります:

ローマ6:4 こういふわけで、私たちは彼の死の中へとバプテスマされることを通して、彼と共に葬られたのです。それは、キリストが御父の栄光を通して死人の中から復活させられたように、私たちも命の新生さの中を歩くためです。

5 もし私たちが、彼の死の様の中で彼と結合して生長したなら、彼の復活の様の中でも彼と結合して生長するのです。

A. 神が人と持つことを願っている関係は、神と人が共に接ぎ木され、こうして有機的な結合の中で一となることです:

①神は、神聖な命と人の命が共に結合されて、一つの命となることを願っています。この一は、有機的な結合、命における結合、すなわち接ぎ木された命です。②キリストの中へと信じることは、彼を神聖な命として私たちの中へと受け入れて、私たちが神聖な命の中で彼との有機的な結合を持つことです。

B. ローマ第12章は、有機的な結合の角度から、結合する命から、私たちをキリストだけでなくキリストの他のすべての肢体とも結合する命から、からだについて語っています:

ローマ12:5 私たちも数は多いのですが、キリストの中で一つからだであり、そして各自は互いに肢体なのです。【月】

①クリスチャン生活の焦点、中心は、からだです。からだは神の啓示の最高点であり、神の継続する働き of 究極の項目です。

②私たちはキリストの中で一つからだであり、彼と有機的な結合を持っています。a. 「キリストの中で」は、キリストと有機的に一であるという事実を常に暗示します。b. この結合は、私たちが命の中でキリストと一にし、また彼のからだの他のすべての肢体と一にします。c. このからだは、組織や社会ではなく、完全に一つの有機体です。それは私たちがキリストと共に持っている命の中の結合によって生み出されました。

③からだの中で正しく有機的であることは、キリストと有機的に結合されることです。a. このからだは、キリストとの有機的な結合の中で共に維持されているものです。b. からだの実際は、キリストとの有機的な結合の中にとどまっているものです。

ヨハネ15:4 私の中に住んでいなさい。そうすれば、私もあなたがたの中に住む。枝がぶどうの木の中に住んでいなければ、自分だけでは実を結ぶことができないように、あなたがたも私の中に住んでいなければ、実を結ぶことはできない。5 私はぶどうの木であり、あなたがたはその枝である。人が私の中に住んでおり、私もその人の中に住んでいるなら、その人は多くの実を結ぶ。私を離れては、あなたがたは何もすることができないからである。【火】

II. 私たちは、ミングリングされた霊の中で生きることによって、キリストのからだの実際の中に生きます:ローマ8:4 それは律法の義の要求が、肉にしたがってではなく、霊にしたがって歩く私たちにおいて、満たされるためです。Ⅰコリント6:17 しかし、主に結合される者は、主と一つ霊になります。

A. 神の唯一の定められた御旨は、ご自身を私たちとミングリングして、彼が私たちの命、性質、内容となり、私たちが彼の表現となることです。

B. キリストのからだは、神・人であるキリストの拡大、すなわち、神と人とのミングリングである方の拡大です:①私たちは、神と人とのミングリングの観点からキリストのからだを理解する必要があります。②福音書において、神と人とのミングリングは、かしらを生み出しました。使徒行伝において、神と人とのミングリングの拡大は、キリストのからだを生み出しました。

③手順を経て究極的に完成された三一の神は、ご自身を

彼の贖われた人々と彼らの人性の中でミングリングします。そのミングリングはキリストのからだの真の一です。【水】

④キリストのからだとしての召会は、神にミングリングしていただき、神とミングリングされている一群れの人々です。

⑤キリストのからだの実際は、神・人による生活です。彼らは人性と神性とのミングリング、神性と人性とのミングリングによって神と結合され、ミングリングされ、神をもって共に構成されています。

C. キリストのからだは、絶対にミングリングされた霊の中の事柄です。こうして、キリストのからだの実際の中にいることは、ミングリングされた霊の中で生きることです:エペソ4:15 むしろ、愛の中で真実を固く保って、私たちはすべての事で、彼すなわちかしらであるキリストの中へと成長し込むのです。

16 この方から、からだ全体は、その豊富な供給のあらゆる節々を通して、またそれぞれの部分の度量に応じた活動を通して、結合され組み合わせられ、からだを成長させ、愛の中でそれ自身を建て上げるに至るのです。①神と人との結合は、二つの霊、すなわち神の霊と人の霊との結合です。これら二つの霊の結合は、聖書の中の最も深い奥義です。②神のエコノミーの中心点は、ミングリングされた霊、すなわち神の霊と人の霊とのミングリングです。神が行なおうとする、あるいは完成しようとすることはすべて、この中心点と関係があります。【木】

③Ⅰコリント第6章17節が暗示している事は、驚くべきことであり、深く広いのです。④主と一つ霊であることが暗示するのは、私たちが彼の中にいることと、彼が私たちの中におられることです。⑤私たちが彼は、有機的にミングリングされ、ブレンディングされ、命の中で一になっています。私たちがキリストは、一つのすばらしい、生ける実体です。

⑥神の霊と人の霊は、私たちの内側でミングリングされて一になっています。それによって私たちが神・人の生活、すなわち神であるが人であり、人であるが神である生活をすることができます。これがキリストのからだの実際です。

III. キリストのからだの実際は、キリストの死に同形化される団体的な生活です:ピリピ3:10 キリストと彼の復活の力と彼の苦難の交わりとを知り、彼の死に同形化されて、

A. キリストの死に同形化されることは、キリストの死を鋳型とすることです:①キリストの死の鋳型は、キリストが人の命を絶えず死に渡して、御父の命によって生きた経験を指しています。②イエスの生活は、私たちの模範です。私たちはこの模範の大量の複製であるべきです。③私たちの生活は、キリストの死の鋳型に同形化されるべきです。それは私たちが日ごと人々の命に死んで、神聖な命を生くことによります。【金】

B. 私たちは、キリストのからだの実際の中にいるために、十字架を通してキリストの死に同形化される必要があります:

①十字架、すなわちキリストの死は、私たちがクリスチャン生活をする道の中心性であり普遍性であって、神の定められた御旨を成就します。②私たちの経験において、キリストと共に生活することにおける転換点は、十字架です。③私たちがキリストの継続として、毎日、十字架につけられた生活をすべきです。Ⅱコリント4:11 なぜなら、私たち生きている者はイエスのために、絶えず死に渡されているからであり、それはイエスの命が、私たちの死ぬべき肉体に現されるためです。

C. そのように自分自身に死んで神に生きる生活は、最初の神・人であるキリストが、彼の多くの肢体、すなわち多くの神・人の内に形づくられて、彼の有機的なからだを建造するためです。

D. 私たちは、絶えずキリストの死を私たちの生活の鋳型とすることによって十字架につけられた生活をする者たちでなければなりません。このような団体的な生活によってのみ、私たちがキリストのからだの実際を持つことができます。【土】

Crucial Point①: 主との有機的結合の中に住み、 出て行って実を結ぶ

ヨハネ15:4 私の中に住んでいなさい。そうすれば、私もあなたがたの中に住む。枝がぶどうの木の中に住んでいなければ、自分だけでは実を結ぶことができないように、あなたがたも私の中に住んでいなければ、実を結ぶことはできない。Iコリント6:17 しかし、主に結合される者は、主と一つ霊になります。

OL1:「キリストの中で」は、キリストと有機的に一であるという事実を常に暗示します。

OL2:この結合は、私たちを命の中でキリストと一にし、また彼のからだの他のすべての肢体と一にします。

OL3:このからだは、組織や社会ではなく、完全に一つの有機体です。それは私たちがキリストと共に持っている命の中の結合によって生み出されました。

OL4:からだの中で正しく有機的であることは、キリストと有機的に結合されることです

キリストのからだは、完全に、命の事柄であり、キリストと私たちとの有機的な結合にとどまる事柄です。私たちがこの有機的な結合にとどまるとき、私たちはからだの中にいます。私たちがこの有機的な結合にとどまらないとき、私たちは実行上、また経験上、からだの外にいます。からだの実際は、キリストとのこの有機的な結合の中にとどまることです。からだの生活の中を実際に生きるために、私たちはキリストとの有機的な結合の中にとどまらなければなりません。これはただキリストの中にとどまることです。ヨハネ15章で、主イエスが私たちに告げているのは、彼はぶどうの木であり、私たちはその枝であって、私たちは彼の中に住むべきであるということです。彼の中に住むことは、彼との有機的な結合の中にとどまることを意味します。私たちがキリストとのこの有機的な結合の中にとどまるとき、私たちは実際に、からだの中に生きているのです。しかし、もし私たちがこの有機的な結合の中にとどまらないなら、すべての実際的な目的のために、私たちはからだから離れています。例えば、私たちが自分自身によって、またキリストから離れて語るとき、私たちはからだから離れています。私たちのうわさ話、だらしない話、いい加減な会話はすべて、私たちがからだから離れていることのしるしです。

からだは、単に共に集まる一群れのクリスチャンではありません。このからだは、キリストとの有機的な結合の中で共に維持されているものです。…キリストのからだを認識するために、私たちは完全にキリストとの有機的な結合を経験する必要があります。それは、私たちが有機的に、命において、キリストと一であるという徹底的な認識をもってです。もし私たちがキリストの中にある有機的な結合を認識しないなら、実行上において、私たちはからだの外におり、からだから離れています。

適用: 中高生/大学生編

あなたが主の御名を呼び求め、御名の中へと信じたとき、主の霊はあなたの人の霊の中に入り、あなたと結合されました。このことで、あなたは何も努力して成し遂げる必要はありません。もう既に、あなたは自分の霊の中で主と結合されているのです。あなたはただ、主を賛美して、主との結合を享受し、その中にとどまるだけです。

この結合は命の中の結合であり、ぶどうの木とその枝の結合によって示されています。あなたは主の御言葉をあなたの中に住ませ、自分の霊を活用し、思いを霊につけることで、実際的に主の中に住み、主との有機的結合の中にとどまることができます。

ヨハネ15:7 あなたがたが私の中に住んでおり、私の言葉があなたがたの中に住んでいるなら、何でも望むものを求

めなさい。そうすれば、それはあなたがたにかなえられる。FN「私の言葉があなたがたの中に住んでいるなら」：私たちが主の中に住み、彼の言葉を私たちの中に住ませる時、私たちは実際に主と一であり、主は私たちの中で働かれます。こうして、私たちが求めることは何であれ、祈っているのは私たちだけでなく、彼も私たちの祈りの中で祈っておられるのです。このような祈りは、実を結ぶことと関係があり、必ず答えられます。

実行上、主との有機的結合の中で主の中に住むために、主の御言葉を祈り読みし、主の御言葉があなたの中に住むようにする必要があります。特に、朝の時間をあなたの命の程度と霊的食欲に応じて、5~40分聖別して、兄弟姉妹と共に御言葉を読み、祈り読みし、祈る時間を持ってください。そして学校に行く時、主の言葉を内側に住ませる行ってください。そうすれば、主との結合の中であなたの学業は引き上げられます。学校生活で主との結合を経験し、享受してください。

16 あなたがたが私を選んだのではない。むしろ、私があるあなたがたを選んだのである。そしてあなたがたを立てた。それは、あなたがたが出て行って実を結び、あなたがたの実が残るためであり、あなたがたが私の名の中で父に求めるものは何でも、彼があなたがたに与えてくださるためである。FN「出て行って」：ギリシャ語の「出て行って」という言葉は、「出発する」を意味し、別の所に向けて出発することを示しています。ですから、それは「出て行って」と訳されています。このように出て行って結ぶ実とは、…実を結ぶ者によって生み出される信者たちを意味します。これは、この区分(12:20—17:26)の主題であるキリストの増殖と一致します。

主との結合にとどまり続けるため、あなたは人に負担を持ち、人が救われるために祈り求めるべきです。そのような祈りは必ず叶えられます。祈った後、あなたは出て行って、人と接触し、人に福音を語ってください。主の中に住んで、主の豊富を享受するのは、単にあなたが優れた学生になるためではありません。それはあなたが出て行って福音をして、実を結ぶため、その実が残るためです。この出ていくことは、実際に行くことだけでなく、LINEなどで人と接触することをも含んでいます。キリストが増殖するために、ぶどうの木の枝であるあなたは、主の中に住み、出て行って福音をしてください。日本ではクリスチャン人口が人口の0.7%なので、ほとんどの人は神の言葉、福音を聞いたことがありません。あなたは主のあわれみを受けて先に救われたのですから、出て行って実を結ぶようにとの主の命令に聞きしたがってください。そうすればあなたの学生生活は大いに祝福されるでしょう。

祈り:「おお主イエスよ、主が私と有機的に結合されている事実のゆえに、主を賛美します。私に必要なことは主の御言葉を祈り読みし、私の中に住ませ、私がぶどうの木である主の中に住み続けることです。枝である私が主の中に住んで主を享受する時、主は私に出て行って実を結ぶように言われます。私の周りの平安の子に、福音を伝えることができますように。」

詩歌 キリストを享受する—彼の中に住む 251(英1163)

- 1 イエスはぶどうの木、われらそのえだ。
主のなかに住めば、いのちながれる。
(復)ぶどうの木に、ぶどうの木に、
つねに主に住んで、さらに主を知る。
- 2 レーマのかたりかけ、ない住のことは、
主のなかに住んで、ちゅうじつに聞く。
- 3 ふかく主に住んで、真に主をあいす。
主の言われること、われらおこなう。
- 5 住み合うとうとさ、したしさ、あまさ。
いのちの実、増せば 最高のよろこび。

Crucial Point②: キリストのからだの実際の中にいることは、ミングリグされた霊の中で生きることです

I コリント6:17 しかし、主に結合される者は、主と一つ霊になります。

FN「主と一つ霊」:これは、その霊である主と私たちの霊との混ざり合いを示しています。私たちの霊は、神の霊によって再生されました。その霊は今や私たちの中におられて、私たちの霊と一つです。これは主の実際化です。主は復活を通して、命を与える霊となられました。そして今や、私たちの霊と共におられます。このミングリグされた霊は、パウロの書簡の中でしばしば述べられています。

ローマ8:16 その霊ご自身、私たちの霊と共に、私たちが神の子供たちであることを、証してくださいます。

FN「私たちの霊と共に」:これは今日、神の霊、三一の神のすべてを含む霊が、私たちの再生された人の霊に内住し、私たちの霊の中で働いておられることを啓示しています。これら二つの霊は一つ霊であり、一つにミングリグした霊として、共に生き、共に働き、共に存在します。

OL1:キリストのからだは、絶対にミングリグされた霊の中の事柄です。こうして、キリストのからだの実際の中

にいることは、ミングリグされた霊の中で生きることです。
OL2:神のエコノミーの中心点は、ミングリグされた霊、すなわち神の霊と人の霊とのミングリグです。神が行なおうとする、あるいは完成しようとするのはすべて、この中心点と関係があります。

実行において言うとき、キリストのからだとは何でしょうか？ それはミングリグされた霊です。…もし私たちがこの事を見るなら、私たちはこのように言うでしょう、「主よ、…からだの実際は私のただ中にあります。再生された霊と内住の霊は今や一つであり、私のただ中で共にミングリグされています。私は祈る必要がありません。待つ必要もありません。…すべてが私の中にあります。私はただこのミングリグされた霊にしたがって歩くだけです。私はただ思いを霊に付けるだけです。命はここにあり、平安もここにあります」。

實際上、霊にしたがって歩くことは、神聖な霊と人の霊の両方にしたがって、すなわちミングリグされて一になった二つの霊にしたがって歩くことを意味します。…このことは、神聖なエコノミーの焦点です。神が意図して行なわれることは何であれ、あるいは彼が意図して達成されることは何であれ、この焦点と関係があります。もし私たちが、ある基本的で霊的な経験を持つようなら、神のエコノミーの焦点がミングリグされた霊、すなわち人の霊とミングリグされた神聖な霊であるというはっきりとした理解を持たなければなりません。

私たちは良心にしたがって生きるだけでなく、ミングリグされた霊にしたがって生きていきます。ですから、私たちはこの[最も高い]水準…において、クリスチャン生活と召会生活を持ちます。…私たちはこのことにしたがって、すなわち、ミングリグされた霊にしたがって歩くべきです。私たちは啓示録の使徒ヨハネのように、このような霊の中

適用: 青年在職/大学院生編

啓1:10 私は主日に霊の中にいた。

FN「霊の中にいた」:本書は、神の強化された動きのために、神の霊が七倍に強化された霊であることを強調するだけでなく、私たちの人の霊をも強調しています。人の霊は、神の動きを認識し、それに応答するための器官です。ただ霊(私たちの霊)だけが、霊(神の霊)に

応答することができます。
FN「主日」:ここの主日は、週の最初の日、主が復活された日であるはず

することを常としました。ヨハネが霊の中において、神のエコノミーのビジョンを見たのは、この日でした。

神の霊と私たちの霊は結合しているだけでなく、共に混ざり合い、ミングリグされた霊となっています。あなたは信仰によって、「主との有機的結合」と「主の霊が私たちの霊の中に入り、ミングリグされた霊となったこと」を認識し、経験してください。これらのことを認識するとは、それがすでに成し遂げられた事実であり、あなたはそれがなるように祈る必要がないということです。この理解の上で、あなたはミングリグされた霊を活用すべきです。

神のエコノミーのゴールは建造であり、建造に至るための焦点、中心点はミングリグされた霊です。ビジネス・パースンあるいは大学院の研究者として、ミングリグされた霊を活用して仕事をし、研究してください。キリストのからだの建造のために、あなたが日常生活で証しのある生活をする

ことができるのは、ミングリグされた霊を活用することによります。ミングリグされた霊において、神聖な豊富、知恵、理解力、忍耐力、鋭敏な判断力、人に対する愛や同情などはすべてあなたの経験となります。特に難しい案件や困難に面した時、ミングリグされた霊を活用することで、あなたは洞察力や卓越した知恵と理解力を得て、これらの事柄を正しく取り扱うことができるでしょう。

I コリント2:11 いったい人の事柄は、人の中にある人の霊のほかに、人間でだれが知っているのでしょうか？ 同じように、神の事柄も、神の霊のほかにだれも知りません。**12** ところが私たちは、この世の霊ではなく、神からの霊を受けたのです。それは、神によって私たちに、恵み深く与えられた事柄を、私たちが知るためです。**14** しかし魂の人は、神の霊の事柄を受け入れません。なぜなら、彼にとって、それは愚かであるからです。また彼は、それを知ることができません。それは、霊によって識別されるものだからです。**15** しかし霊の人は、すべての事柄を識別しますが、彼自身はだれにも識別されません。

16 だれが主の思いを知って、彼に教えるのでしょうか？ しかし私たちは、キリストの思いを持っています。

しかしながら日常生活における霊的な経験は、単にあなたが優れたビジネス・パースンあるいは研究者になることではなく、それは究極的にキリストのからだの建造のためです。からだの建造が神のエコノミーのゴールです。ですから日常生活での祝福は、からだの建造のためであることを再確認してください。あなたは毎日、自分のビジネス・ライフや研究生活を主にささげ、また自分自身を主にささげるべきです。そして経験したキリストを福音として、六種類の新人に語ってください。福音を語る時も重要な秘訣は、あなたがミングリグされた霊を活用することです。そうすれば命の水の流れはあなたから流れ出て、人々を潤し供給することができます。

祈り:「おお主イエスよ、私は神の霊と人の霊とがミングリグされた霊を持っています。ハレルヤ！ 主に感謝します。ミングリグされた霊の中で、神は私と共におられ、キリストの洞察力、知恵、理解力、人を赦し人を愛する心などの卓越した美德を経験することができます。それはこれらのキリストの経験を福音として、兄弟姉妹や六種類の新人に語り出し、からだを建造するためです。アーメン！」

450 神を経験する — 霊の中で

1 ひとに対すかみのストーリー、みな霊にある；
ひとはかみの本しつを、霊で経験する。

(復)霊は霊を生み、霊は霊を拝す；
霊、ことばとなり、生けるみずはながる。

6 かみのすべてのゆたか、みな霊にある；
つねに霊でかみ、呼吸し、経験し、享受す。

I. 高い福音

第五課 神がおられる(下)

創世記 1:1 はじめに、神は天と地を創造された。
ローマ 1:20 神の見えない永遠の力と神性の特徴は、世界が創造されて以来、明らかに見られており、造られた物によって認められているので、彼らには弁解の余地がありません。

神は聖書の中で啓示されている

聖書は、神の称号を私たちに啓示します。旧約における神の多くの称号の中で、使われているのはおもに三つであり、「エロヒム」「エホバ」「アドナイ」です。「エロヒム」はヘブル語で複数の名詞です。この言葉は「信実な力強い方」という意味を含んでいます。神は力強く、信実です。彼は力において強く、また言葉において信実です。「エホバ」とは、「私は有って有るもの」を意味し、それは神が自ら存在し永遠に存在するお方であることを啓示しています。彼は過去において存在されたお方であり、現在存在されるお方であり、将来、来られるお方です。「アドナイ」は「主人」と「夫」を意味します。一方において、神は人の主人であり、もう一方で神は人の夫です。新約には他にも多くの称号があります。例えば、父、主、イエス・キリスト、聖霊などです。これらはみな神がだれであるのか、何であるのかを私たちに啓示します。

旧約の預言者たちは、みな神の靈感によって語りました。預言の言葉を彼らの口に置いたのは、神です。「主はこのように言われる」という言葉が、旧約で何度も繰り返されています。預言者たちの言葉の知恵とその預言の成就是、その言葉が真に神の靈感によるものであることを証明しました。最大の預言の一つは、イスラエルの国の運命に関するものです。ユダヤ人は全世界に散らされていましたが、定められた時がくれば、イスラエルの国は復興され、エルサレムの町がユダヤ人の手に戻されることを、聖書は予言しています。私たちは、一九四八年にはイスラエルの国が復興され、一九六七年にはエルサレムがユダヤ人の手に戻されたのを、この時代に見ることができました。あの中東の小さな国が建国されたことは、歴史の中で神が働いておられることの生きた証拠です。

人に対する神のご計画

神の願いは、私たちがご自身を知ることです。神はご自身を隠されるつもりはありません。神は、人がご自身をまず創造主として、次に神また父として認識するようになって欲しいのです。神は人がご自身を礼拝するのを願われます。ヨハネの福音書 4:23 は、神は真の礼拝者、霊とまこととをもって礼拝す

る者たちを求めておられる、と告げています。神は、ご自身が創造された物を人が拝むことを願われません。神に対する真の礼拝は、私たちの霊をもって礼拝することです。過去において、人は多くの偶像を作り、神の替わりにこれらの物を拝みました。しかし旧約と新約の両方で、神はあらゆる形の偶像礼拝を禁じておられます。神は唯一の神です。私たちの礼拝を要求するにふさわしい対象は、ほかにありません。

神は霊ですから、神を礼拝する者も、霊の中で礼拝しなければなりません。もし電波を受信したいなら、ラジオを使わなければなりません。もし電話で話したいなら、受話器を取らなければなりません。同様に、もし人が神を礼拝し接触したいなら、必ず人の霊を使う必要があります。色を耳で聞くことはできませんし、また目で音楽を見ることはできません。必ず正しい器官が必要です。神は霊であり、物質的なものではありません。この理由により、私たちは物質的なもので神を礼拝してはならず、霊をもって神を礼拝しなければなりません。

私たちの霊を使う方法は、主イエスの名を呼び求めることによって祈ることです。もし私たちの口を開き、心を開いて、神に祈るなら、私たちの霊は神に触れ、神は私たちにとって実際となるでしょう。

人に対する神の究極のご計画は、人が神を表現することです。神を表現する方法は、神で満たされることです。もし神に祈って神を受け入れるなら、神は私たちの中に入り、私たちを満たされるでしょう。

神はもはや私たちの外側におられる客観的な神でなく、私たちの内側におられる主観的な神とされます。彼はご自身をもって私たちを満ちし、私たちの全存在を変えてくださいます。クリスチャンになるということは、単にある信条を信じたり、ある教えを学んだりすることではありません。それは、神を認識し、神を礼拝し、神で満たされることによって神を表現することなのです。

詩歌 12 父を礼拝する — 彼の偉大さ

1. てん地のつくられしもの、
そのいる、かたちすべては
(復)
わがこころ、霊はうたう、
とわにわれらはうたう;
 2. あいする御子をつかわし、
御子死に、いのちあたえて、
 3. しょうかいのなかでなれを、
み住まいけんぞうされて、
 4. とき満ち、新エルサレムに、
てん地はあたらしくされ、
- すべてはなれのちから、
なが無限をひようげんす。
なんという不思議よ!
大いなるみかみを!
すくいのみわざを成す、
われらを新創ぞうとす
ともに享受し、あずかる、
ながゆたかあらわさる。
あずかるのをぞみ待つ;
ながすべてあらわさる。